

第10回 香川県教育研究集会

子どもの笑顔が輝く学校づくりのために

今だからこそ、憲法が生きる教育を

分科会のレポート紹介!

第1分科会「学級づくり」

- ①生徒の主体性を引き出す学級経営および生徒指導
～ 担任としてクラスへの関わりと意識変化 ～
大社 健治 香川高教組(三本松高)
②人生最大のピンチ！小6の学級経営
大久保和彦 香教組(丸亀市立城北小)

第2分科会「主権者教育と平和学習」

- ①18歳選挙権に対する各学校のとりくみ
閑島 新一 香川高教組(多度津高)
②主権者教育
小山 典久 香川高教組(高松東高)
③戦中・戦後の学園の歴史を基にした平和学習の実践
木田 誠、水内 浩視 私教連(英明高)

第3分科会「生徒の自主活動・学校づくり」

- ①修学旅行を考える～震災と復興の地への旅～
宮本 美幸、岡田 盛智 香川高教組(飯山高)
②リーダー研修のすゝめ
酒井 将年 香川高教組(高松東高)
③ボランティア活動から育む力
杉本美智子 私教連(高松中央高)
第4分科会「働きやすい職場づくり」
①労働委員会闘争から新たに要求闘争・民主化に向けて
石村 博通 私教連(藤井高)
②栄養教諭を取り巻く課題と組合との出会い
十河沙也加 香教組(まんのう町立満濃中)
③30数年目の青年部総会へのホップ！
四宮 瑞穂 香教組青年部

第5分科会「特別なニーズを有する子どもたちへの教育」

- ①就職をめぐる状況「発達障害など支援の必要な生徒の就労を考える」
川人 隆芳 香川高教組(香川西部養護)
②防災教育から学んだこと
西川 一平 香川高教組(盲)
③一人一人が活躍できる寄宿舎を目指して～自治会活動を通して～
菊地 貴幸 香教組(高松養護)

来年も、香川大学教育学部キャンパスでお会いしましょう。

先生の言うことを聞いたに

どの学校も授業中だった。その時の対応は学校によつて違つていた。▼夕方の香教組の会議では、「子どもたちは揺れを感じたら何も言わなくとも机の下に潜り込んだ。訓練は大切」「運動場に出るよう訓練しているのに、そのまま授業を進めた」「訓練の命を守る」などがなされた▼「正しい行動はどうなの？」が話し合われたが議論百出▼結局、「子どもたちの命を守る」それが一番の判断基準だろ」という結論になつた▼「先生の言うことを聞いたに」胸に刺さる言葉だ。今一度、危機管理を見直したい。

の被害に遭い、多くの児童と教職員が亡くなつた大川小学校の訴訟。先日、判決が出た▼2015年夏、大川小学校跡地へ移転した。運動場に立ち、あの日自分がこの場所で子どもたちと一緒にいたら、どんな判断をしていたんだろうか。冷静に判断ができるだろうか。被災した校舎を、裏山を見ながら足がすくむ思いがした▼決して人ごとではない。大切なことは、かけがえのない命と引き替えに私はたちに残してくれた教訓を生かすことだ▼10月21日午後、鳥取で大地震が起きた。香川も阪神淡路大震災以来の揺れを感じた。



発行所
高松市田村町1033-3
TEL(087)867-4797
FAX(087)867-6446
kakyoso@kakyoso.com
香川県教職員組合
定価1部50円 1月100円
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ

<http://kakyoso.com/>

この会に初めて参加したといふ一般参加者は、「分科会も講演会もとってもよかったです。こんないい会はもっとたくさんの方に来てもらいたい。いつしょに話していました。来年も必ず来ます」

分科会の感想

○小学校の先生の発表は、高校現場にものすごく参考になりました。小学校は「20人学級」にしました。生徒も生き生きしくいのではいけないかと思いました。
○小学生からの自己理解が、特生徒も生き生きしくいのではいけないかと思いました。

○「働きやすい職場づくり」という分科会は、毎日働いていく上で一番大切であります。しかし、職場で「いるとしても1名（自分だけ）」という栄養教諭の立場の大変さを痛感した。横

のつながりをしっかりと他県とのバランスも取りながら組合活動をがんばって欲しい。

○「働きやすい職場づくり」という分科会は、毎日働いていく上で一番大切であります。それができるので、これからも入れて欲しい。

いということです。

多忙な毎日の中ですが、校種を超えて実践を学び、ともに考

えることで、児童から青年への「育ち」をつなぎ、幅のある実践を創造できます。「忙しいの

で参加するのは厳しいと思つたけど、来てよかった」と毎年の

参加者の感想です。

多忙な毎日の中ですが、校種を超えて実践を学び、ともに考

えることで、児童から青年への「育ち」をつなぎ、幅のある実践を創造できます。「忙しいの

で参加するのは厳しいと思つたけど、来てよかった」と毎年の

参加者の感想です。

香川県教育研究集会は、2016年度で10回目ですが、それ以前は4教組(香川大学教組・香川高教組・私教連・香教組)

が合同で、教育や職場環境について学習交流する場として30年

以上続いていました。4教組が合同でこのような研究集会を開催する県は、全国でもめずらしいということです。

小黒板

東北大震災で津波の被害に遭い、多くの児童と教職員が亡くなつた大川小学校の訴訟。先日、判決が出た▼2015年夏、大川小学校跡地へ移転した。運動場に立ち、あの日自分がこの場所で子どもたちと一緒にいたら、どんな判断をしていたんだろうか。冷静に判断ができるだろうか。被災した校舎を、裏山を見ながら足がすくむ思いがした▼決して人ごとではない。大切なことは、かけがえのない命と引き替えに私はたちに残してくれた教訓を生かすことだ▼10月21日午後、鳥取で大地震が起きた。香川も阪神淡路大震災以来の揺れを感じた。

